

日時：2007年10月21日

山域：伊豆 波勝崎

ルート名：スーパーレイン

メンバー：久池井（豊）、谷嶋

形態：クライミング

報告：谷嶋

前月に台風直後にジャンダルムに行こうとしたところ、松木川の増水で敗退。その車中で伊豆のスーパーレインの話が出た。以前から行きたいなあと考えていたこともあり、都合がつく週末を決め、事前に松木のジャンダルムでクラックの練習をして臨んだ。

土曜に登る予定であったが、金曜夜に雨が降ったため、土曜は城ガ崎でクラック練習をすることにした。が、イントロダクション（5.9）すら登れずに意気消沈。明日はフィンガークラックだのオフウィズスもあるので心配だが、いざとなったらA0と腹をくくって就寝。

6:10 頃 駐車場発。車道からアプローチの入り口らしい踏み跡のある斜面に登る。今シーズンはまだほとんど人が入っていないようで道が判りにくく、最初は半信半疑だったが、やがてくっちーがネットで調べた地形と符合し、そのまま行くと赤テープ発見。その後も藪を突破し薄い踏み跡をたどり、何度かうろうろしながら取り付きに到着した。

1P 5.7 リード久池井 7:45～

取り付きでどっちがリードする？と聞くと、くっちーがやりますっ！と即答。奇数ピッチの方が偶数ピッチよりも面白そうなので、ええズルイと駄々を捏ねつつもリードを譲る。凹角を登って、ハング気味のフレーク下で切る。木の根っこも多く、易しいピッチ。

2P 5.8 リード谷嶋

かぶり気味のフレークを越え、すぐにスラブを右トラバース。シーズン初めのためか、スラブが苔っぽくて怖い。左側のクラックにナッツを2つセットして慎重～にトラバースし、その後樹林帯に入る。ここで3Pのクラックがよく判らず、ピッチを切るまでにずいぶん時間を浪費してしまった。

3P 5.10a リード久池井 9:30～

途中ルートが右上するところでくっちーがルートに戸惑う。ずいぶん迷って右上していくが、途中でテンション。すぐ立ち直り、するっと登っていった様に見えるが、これが結構こたえたらしい。この辺で後続パーティが下に見えてきた。地元三島のパーティーとのこと。

4P 5.10a リード谷嶋 10:20～

最初クラックを右上するのだが、どうやって行くのか？思わず逡巡する。結局右上クラックをレイバックで辿ったのだが、レイバック中はプロテクションが取れずランナウトし、さらに徐々にパンプしてきて怖かった。途中直上クラックへと移るが、このクラックは最

後にフィストからオフウィズスとなり、やったことの無いサイズなので苦勞する。

#### 5P 5.10a/b リード谷嶋

ここでくっちはリード役をギブアップ。3P目でイッパイとのこと。リードをありがたく頂戴する。ここで後続パーティに先を譲るために40分くらい？の大休止。風が少しあるが、天気は快晴。テラスで飲み食いしながらゆっくり景色を楽しんだ。クラックはフィンガーびったり、慎重にジャムの効きを確かめながら登る。小ハングでは少し悩んだものの、時間をかけると疲れるだけなのでカムを2本取った後、思い切って越える。フォローしたくっちはスムーズに登ったようだったが、A0とのこと。

#### 6P 5.8-5.9 リード久池井

持って行ったトポには5.7とあったので甘く見ていたが、別の本では5.9だった。実際、最初のワイドが難しく、5.7以上はあると思うのだが。途中で右のスラブに抜けたのだが、このスラブでロープが引っ掛かり、何度もユルメターと叫ぶがなかなか声が届かず苦勞した。ここのピッチは風が強いとコールが聞きにくい様で、先行パーティーも難儀していた。

#### 7P 5.8 リード谷嶋

トポにはワイドとあるので、ナッツはくっちから受け取らずに取り付いたのだが、甘かった。出だしのワイドに1つめの支点を取った後、カムが入らずえらくランナウトさせられた。その後終了点までに、キャメ#0.75を1個セットしたのみ。難しくはないのだが、岩がもろいので、いつ岩が剥がれて落ちるか判らない。とにかく集中して登った。終了は14:15になってしまう。懸垂の後、藪を戻って駐車場についたのは16:50頃。

感想など：ロケーションは最高。登っていてとっても気持ちが良い。適度に何かがあるピッチが続き、緊張が解けない。アプローチは判りにくく、帰りに暗くなると道迷い遭難しそう。クラックに慣れていないため、ルートを見てすぐに動けず、いろいろ考えて疲れてしまう。時間かかりすぎ。もっとクラックの経験が必要です。

備考：ロープ50m×2、キャメロット2セット（#0.4～#3、#4以上は1セット）、エイリアン黄、緑、ナッツ2セット。懸垂の支点のボルトが錆だらけ。使用前に要チェックです。